

総合学科通信

第2号

2014.7.25

宮城県小牛田農林高等学校

総合学科推進部

明日から夏休みが始まります。総合学科の生徒は、夏休みを中心に行われる学習に備えて、計画的に準備を進めてきました。1年次は「産業社会と人間」における「職場体験実習」、2年次は「総合学習」における「上級学校訪問・インターンシップ」、3年次は「総合学習」の課題解決学習における「インタビューや施設訪問、実験や実習」など、自己の進路目標達成に向けて、意欲的に取り組んでもらいたいと思います。

1年次「産業社会と人間」

職場体験実習



7月28日(月)と29日(火)を集中日として、121名の生徒が78カ所の職場で職場体験実習を予定しています。福祉施設・病院・保育所・幼稚園・小中学校・役場や警察などの官公庁・ホテル・美容院・放送局・洋菓子店やスーパーなどの販売小売店など約120カ所の体験候補先から選んだり、自分で探してきたりした職場です。実習の流れを紹介します。

5月	実習希望先調査・電話のかけ方・事前打ち合わせの仕方
6月	実習先訪問(事前打ち合わせ)
7月	事前指導
7月28・29日	職場体験実習(集中日)
7月・8月	事後指導(お礼状・感想文作成)
9月	クラス発表会・全体発表会
10月25日	稲章祭展示発表(一般公開)



すでに職場体験実習を終えた生徒の感想です。写真は同じく小牛田小学校2年生で実習した「大きなかぶ」係になった生徒の様子です。

「小牛田小学校での職場体験実習」

私は、7月10日11日の2日間、母校である美里町立小牛田小学校で職場体験実習を行いました。5年生が2クラス他学年は1クラスの学校です。

私は2年生のクラスに入り、小学校で流行っている遊びを教えてもらったり、「お化け屋敷」のアイデアを出し合ってお楽しみ会をしたりと、時間を忘れてしまうほどとても楽しく過ごしました。

担任の先生が教室にいなかったときにケンカが始まり、できる限りの対応をしたのですが、とても良い経験になりました。

2日間でクラス全員の子もたちと会話できて良かったです。

「生徒を持つというのは大変な仕事だが、生徒の日々の成長がやりがいである。」「何をするにも目標は大きく持つ!」など、尊敬する恩師からたくさんの貴重なお話を聞くことができ、ますます教師という仕事に魅力を感じました。

小学校の教師になるという目標を実現できるよう、今後の高校生活においてしっかり学習に取り組んでいきたいと思います。

1年5組 笹川 桃香(小牛田中学校出身)

大学出前講座

7月2日(水) 5・6校時、本校にて大学の模擬授業を聴講

しました。普段なかなか聞くことのできない“大学の授業”を、とても興味深く聴講していたようです。

1	文学・語学	東北学院大学文学部英文学科 講師 古川 弘子 「翻訳と文化について考える」
2	教育	石巻専修大学人間学部人間教育学科 教授 木村 民男 「教師の魅力」
3	保育	聖和学園短期大学保育福祉学科 教授 松村万里子 「保育者にとって大切なこと 音楽表現をとおして」
4	農業	宮城大学食産業学部環境システム学科 准教授 千葉 克己 「津波被災農地の塩害対策と復旧」
5	人間科学・心理学	宮城学院女子大学学芸学部心理行動科学科 准教授 木野 和代 「心理学って、なんだろう？」
6	経済	石巻専修大学経営学部経営学科 助教 関口 駿輔 「経済学の基本原理 ～アベノミクスから5年後の自分を描く～」
7	看護	仙台青葉学院短期大学看護学科 教授 門屋 久美子 「看護師とは何をする人なのか」
8	情報	東北工業大学ライフデザイン学部経営コミュニケーション学科 教授 岡部 雅夫 「Web情報の体系化の動向について」

経済分野，
文学・語学
分野の様子
です。



私の科目選択～情報系列の科目を中心に～

私は、主に情報系の授業を受けています。科目選択では、できるだけ情報の授業を選びました。

2年生の「情報と表現」では、HTMLを作りました。プログラムソースにプログラムを打ち込みホームページを作りました。初めて自分でプログラムを組んだので、授業以外に家でも自分で作ってしまうほど楽しかったです。

3年生になり、情報系の授業は一気に週16時間になりました。内容もより詳しくより難しくなりましたが、毎日パソコンを使った作業ができるので楽しいです。最近ではアニメーションやポスターを自分で作ったり、プログラムの基礎や表計算ソフトの使い方を学んだりしています。

自分にとってパソコンを使うと言うことは将来の夢へ繋がることです。残り少ない高校生活ですが、残りの時間も楽しみながら学んでいきたいです。

齋藤大輔 (小牛田中学校出身)